

ご挨拶



(一社) 東北地質調査業協会 理事長 奥山 清春

春の訪れとともに、新たな年度を迎えるにあたり、日頃より三協会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

毎年の冬の雪ですが、去年は日本海岸を中心に災害級の大雪でした。今年は暖冬の影響か1月中旬までは例年より雪の量は少ないとの予報でしたが、1月下旬には各地で大雪となりました。このように年や地域ごとの毎年の振幅や短期間での降雪など非常に極端になり、地域ごとに大変ではありますが、体調管理なども注意しながら新年度に向けて元気でいきましょう。

さてこのような状況下、全国各地で災害が発生しております。東北でも地震や豪雨災害被害地域の皆様には、一日も早い復興をお祈りいたします。今後もこのような災害に備え、また災害協定に基づき積極的に対応させていただき、発注機関とより一層綿密に連携を取りながら、安全・安心につながる地域づくりに取り組んでまいり所存です。

また、本年3月には昨年7月より進めていた新しい災害協定を東北地方整備局との間に締結予定ですので、より一層連

携を深めていければと考えております。

今年も国内、世界経済とも非常に厳しく予測困難な一年と予想されております。去年は参議院選挙にて職域代表の先生が無事当選されました。今年は急に政治情勢が騒がしくなり、選挙に急転直下となりましたが、ぜひとも政治が安定することを強く望んでおります。

また様々な分野における物価高が続いており、我々業界もさらなる働き方改革の一層の推進や工夫が求められております。そのうえ賃上げや、特に深刻な若手技術者の雇用などなど対処すべき課題が山積しております。そして何よりも防災・減災、災害対応などが非常に重要となっております。令和8年度より新たな国土強靱化中期計画が始まり、このような社会情勢に敏感になり、しっかり把握したうえで、協会員一丸となって、より一層前進するよう取り組んでまいりたいと思います。

最後になりますが是非今年も、会員皆様にとって良い年となるよう祈念いたしまして「大地66号」の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくごお願い申し上げます。